



令和6年9月24日

市政記者クラブ 様



経済局イノベーション推進部
次世代産業振興課
担当：前田・三浦 電話：972-2417

「名古屋水素技術ワークショップ」の参加者を募集します！

中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議に参画する名古屋市では、水素エネルギーの普及を目指し、水素利活用や水素産業参入に関心がある市内企業等に向けて、

今年度初めて「名古屋水素技術ワークショップ」を実施します。

つきましては、「名古屋水素技術ワークショップ」の参加者を募集いたしますので、広くご周知くださいますようお願いいたします。

記

1 概要

水素の利活用や水素技術開発など先進的な取組みを実施している企業からの講義、現場視察や講師や技術者の方々との意見交換を通じて、自社の強みを活かした水素分野における今後の取組みを考えるワークショップを開催します。

2 対象

- ・水素の利活用や水素産業への参入に関心がある企業の方
- ・水素エネルギーや水素に興味がある企業の方 など

3 テーマ・開催日時等（プログラムの内容が変更となる場合もございます。）

第1回「中部圏の産業 GX-工場のカーボンニュートラル化と水素の利活用-」

日時	令和6年10月23日（水）午後2時から午後4時30分まで
会場	トヨタ自動車株式会社 元町工場（愛知県豊田市元町1番地）
定員	20名
締切	令和6年10月16日（水）17時
プログラム	①「工場カーボンニュートラルー工場での水素利活用の取り組み-」 トヨタ自動車株式会社 プラント・環境技術部 生産環境室 エネルギー・再エネG 主任 吉村 唯 氏 ②「経済産業省の水素技術利活用・開発等に係る支援制度について」 経済産業省中部経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進室長 長谷川 大晃 氏 ③視察 1. バイオガス由来水素製造 2. アルカリ水電解設備 3. FC フォークリフト など ④講師や技術者とのグループワーク、ネットワーキング
主催	名古屋市
後援	中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議

第2回「再生可能エネルギー由来水素の利活用システムについて-電力ピークカット、非常時給電（BCP）の実現-」

日 時	令和6年11月7日（木）午後2時から午後4時30分まで
会 場	明治電機工業株式会社 豊田支店（知立市西町宮腰45）
定 員	20名
締 切	令和6年10月16日（水）17時
プログラム	①「環境省の水素普及促進に係る支援制度と制度活用事例」（仮題） 環境省中部地方環境事務所 地域脱炭素創生室長 新原 修一郎 氏 ②「水素社会実現に向けた取り組みの紹介と再生可能エネルギー由来水素の利活用システムについて」 明治電機工業株式会社 エンジニアリング事業本部 エネルギー事業推進部 担当部長 大田 育生 氏 ③視察 再エネ水素利活用施設の見学（1. 定置式FC（燃料電池）発電機 2. 水電解装置 3. エネルギーマネジメントシステム など） ④講師や技術者とのグループワーク、ネットワーキング
主 催	名古屋市

第3回「【Meet up Chubu 連携】水素関連スタートアップ特集」

日 時	令和6年11月14日（木）午後3時30分から午後5時30分まで
会 場	ナディアパーク・デザインセンタービル4階 ナゴヤ イノベーターズ ガレージ（名古屋市中区栄3丁目18-1）
定 員	会場：80名／オンライン同時配信：制限なし
締 切	令和6年11月13日（水）16時（先着順）
プログラム	①「水素社会・炭素循環型社会の実現に向けた『水素の森』プロジェクトについて」 日本特殊陶業株式会社 グローバル戦略本部 サステナビリティ戦略室 参事 久禮 圭祐 氏 ②「身近な場から実現する『水素社会』」 株式会社メグレナジー 代表取締役社長 関師 誠 氏 ③「『アルミ水素』による脱炭素社会への挑戦！！」 アルハイテック株式会社 代表取締役社長 水木 伸明 氏 ④「高解像度金属3Dプリント技術を用いた高出力化する水素関連電解 拡散層」 3D Architech 合同会社 R&D Fellow 工藤 朗 氏 ⑤「GX分野のスタートアップに対する研究開発支援事業の紹介」 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） スタートアップ支援部 清水 明 氏 ⑥講師とのネットワーキング
主 催	名古屋市、経済産業省中部経済産業局、一般社団法人中部経済連合会
備 考	視察はございません。

第4回「都市ガス分野における最新動向と水素技術開発」

日 時	令和6年11月25日（月）午後2時から午後4時30分まで
会 場	東邦ガス技術研究所 CaN—Lab(東海市新宝町 507-2)
定 員	20 名
締 切	令和6年10月16日（水）17時
プログラム	①「東邦ガスのカーボンニュートラルに関する取組みについて」 東邦ガス株式会社 カーボンニュートラル開発部 部長 浅井 実成 氏 ②「CN 燃料の調達における最新動向とその活用に向けた技術的要点」 名古屋大学大学院工学研究科 准教授 小林 敬幸 氏 ③視察 1. メタネーション 2. CO2 分離回収 3. 水素利用技術（水素バーナ、水素混焼ガスエンジン） など ④講師や技術者とのグループワーク、ネットワーキング
主 催	名古屋市

4 参加費

無料 但し、交通費や通信費は参加者負担

5 申込方法

- ・各回の申込締切日までに下記ウェブサイトよりお申込みください。
<https://hydrogen-nagoya.jp/news/detail/e08.html>
- ・第1回、第2回、第4回のプログラムは申込多数の場合、抽選
- ・集合場所など当日の行程の詳細は参加者にご連絡します。

6 取材について

- ・取材にお越しいただける場合は、**各回の開催日時の 3 営業日前の 17 時までに**上記の連絡先へご連絡をいただけますと幸いです。

7 キックオフセミナーについて

- ・令和6年10月1日（火）14時30分から実施する名古屋水素技術ワークショップキックオフセミナーにてワークショップの詳細を紹介するとともに、トヨタ紡織株式会社様のFC 自転車の試乗会も実施します。FC 自転車には**河村市長も試乗予定です。**
- ・詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。
<https://hydrogen-nagoya.jp/news/detail/e06.html>
- ・取材にお越しいただける場合は、**9月27日（金）17時までに**上記の連絡先へご連絡をいただけますと幸いです。

※名古屋経済記者クラブに同時提供